

FIELDWORK

学外研修 | 文化財学科

古墳を巡ったり、実際の発掘にチャレンジしたり。
奈良ならではの「ホンモノ」の文化財に触れる学びです。
学生が主体となって協力しながら調査に取り組み、
新たな発見と成長へつなげていきます。

貴重な文化財に触れ、
新発見に迫る



PICKUP:01

古墳の石室に入っの講義

現地現物主義の文化財学科では、
古墳も見学します。

PROFESSOR'S VOICE

新しい発見が生まれ続ける、 文化財の「今」を奈良で感じる

奈良には遺跡やお寺・神社、さらには博物館などがたくさん存在し、文化財が身近であることは誰しもが知るところです。文化財は一見「古いもの」というイメージがあるかもしれませんが、現在も各地で継続的に調査・研究が進められ、新しい発見や成果が次々と明らかにされています。そんな文化財の「進行形」が身の回りに溢れる奈良。そうした現場をすぐに見に行くことができるのも、奈良大学の強み

のひとつです。文化財学科の授業では、学外へ出向き、奈良を中心に周辺の遺跡や博物館を巡る機会を多く準備しています。文化財の「今」を体感しながら、充実した学生生活を送ってみませんか。



専門分野／考古学
岩戸 晶子 教授



STUDENT'S VOICE

資料では得られない、非日常を体験する

岩戸先生の解説を受けながら、天理市の峯塚古墳や西山古墳、石上神宮を訪問。古墳は本来、土が盛られ石室が隠れていますが、峯塚古墳は石室が開口しており、その中に入ることもできました。古墳時代につくられたその空間は資料で見ると以上に美しい状態で現存しており、当時を生きた人々の美意識に直に触れるような、非日常の体験を味わいました。今回学んだ情報をもとに、グループに分かれて

テーマを設定し、発表も行います。私は教職を目指しているのですが、こうして国内外のあらゆる文化財を自分の目で見て回ること、実体験を交えた説得力のある授業をしていきたいという、将来のビジョンを描くことができました。



文化財学科 2年
(千葉英和高等学校出身)
江村 重範 さん



その他のフィールドワーク

PICKUP:02 | 古墳の発掘調査



実際に古墳を発掘し、 研究方法について学ぶ

文化財学科では斑鳩町教育委員会と協力し、本学科教授・豊島先生の指導のもと、町内の古墳の発掘調査を進めています。調査は毎年春休みに実施。出土した埴輪や土器などは大学に持ち帰り、洗浄、接合、実測などを行い、成果を報告書にまとめて刊行します。発掘調査から研究までの一連のプロセスを、実体験を通して学ぶことができます。

- 栃木県中根八幡遺跡の発掘調査
- 奈良県富雄丸山古墳の発掘調査
- 奈良県三輪山祭祀遺物の調査
- 兵庫県新温泉町湯区薬師堂における文化財調査